

【議事録】

(1)市内における犯罪の概況について

◆事務局からの説明(資料のとおり)

◇委員

- ・南署管内でも刑法犯認知件数は昨年と比較して増加している状況である。
- ・刑法犯の中でも窃盗犯及び知能犯が増加しており、特に窃盗犯では万引きが53件増、自転車盗が150件(前年比22件増)であった。
- ・自転車盗150件のうち133件が無施錠であり、無施錠率は約9割となっている。
- ・被害は佐賀大学構内及び周辺に集中しており、18歳から22歳の学生層の被害が目立つ。
- ・毎年6月の自転車盗難防止強化時期にあわせ、大学構内でのビラ配布や広報活動を実施している。
- ・生活安全課員による月1回程度の巡回や、無施錠自転車へのタグ付け活動を継続している。
- ・防犯カメラの整備が進み、後日の確認により被害が判明する事案もある。
- ・制服警察官による店舗立寄り警戒を通じ、犯罪抑止を図っている。

◇委員

- ・北署管内の刑法犯認知件数は前年比マイナス16件で、減少している。
- ・窃盗犯はマイナス36件、自転車盗はマイナス30件であった。
- ・商業施設や駅周辺での随時警戒、無施錠自転車へのステッカー貼付など地道な活動を継続している。
- ・侵入窃盗は減少傾向にある。
- ・一方で、盗撮事案や少年補導事案が課題である。
- ・駅周辺に少年が集まり、補導事案が発生している。
- ・継続的な警戒により110番通報件数は減少傾向にあるが、市や学校との連携が重要である。

(2)特殊詐欺について

◆事務局からの説明(資料のとおり)

◇委員

- ・被害額は約 24 億円で前年比約 2.4 倍に増加している。
- ・ニセ電話詐欺は 90 件に急増している。
- ・SNS 型投資詐欺及びロマンス詐欺も増加傾向にある。
- ・国際電話の利用休止を進めた結果、SNS 型詐欺へ移行する傾向がみられる。
- ・金融機関及びコンビニとの連携による水際対策が重要である。
- ・デジタルサイネージ等も活用し広報を行っているが、継続的な啓発が不可欠である。
- ・スマートフォンで完結する犯罪が増加している。

◇委員

- ・各自治会で詐欺防止のぼり旗を設置しているが、効果に否定的な意見もあり、頭を痛めている。

◇委員

- ・スマートフォン所持の低年齢化が進んでいる。子どものころから使い方の啓発を行うことで、大人になってからの被害を防げるのではないかと思う。

◇委員

- ・以前は SNS に関する研修を行っていたが、現在は行っていない。今こそ実施が必要であると思った。

◇委員

- ・高齢者には繰り返しの啓発が有効である。サロンなどで年間行事に出前講座などを組み込むなどしたらどうかと考えていた。

◇委員

- ・誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、毎月事件や事故の防止方法などを告知している。被害を少なくするために報道をし続けるということが大切である。

◇委員

- ・子どもたちへのあいさつ運動、見守り活動を、できるときにできる場所でもらいたいと地域にお願いしている。

◇委員

- ・子どもの見守り活動は地域の方にご尽力いただいている。それに加え、ICT の力で見守りを発展させようと基盤整備を行っている。

◇委員

- ・引き続き啓発に努めていきたい。出前講座も行っているので、希望があればお声かけいただきたい。

◇会長

- ・24 億円という被害額は地域にとって大きな損失である。
- ・単発ではなく継続的な啓発活動が重要である。
- ・各団体において本日の内容を共有し、抑止につなげていただきたい。